



TITLE:

佛國ノ戰時食料政策

AUTHOR(S):

山本, 美越乃

CITATION:

山本, 美越乃. 佛國ノ戰時食料政策. 經濟論叢 1917, 5(6): 894-900

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127300>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷五第

行發日一月二十年六正大

論說

社會學卜社會科學(二).....

文學士

高田保馬

租稅ニ於ケル強制卜任意.....

法學博士

神戶正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田嗣郎

經濟的行爲卜道德的行爲卜關係(三).....

法學博士

田島錦治

墨子ノ經濟思想(二完).....

法學士

小島祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田庄太郎

土佐藩ノ地割制度(二).....

文學士

小野武夫

時事問題

日米協定卜日本ノ經濟.....

法學博士

神戶正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田海市

雜錄

佛國ノ戰時食料政策.....

文學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

獨逸側ヨリ觀タル英國戰時ノ勞働者階級.....

法學士

櫛田民藏

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

神戶正雄

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田嗣郎

雜 錄

佛國ノ戰時食料政策

山本美越乃

佛國ハ平時ニ於テハ食料ノ供給ニ關シテハ殆
 シト自給ノ地位ニ立テ、英・獨等ノ如クニ外國ヨ
 リノ輸入ニ待ツベキモノ多カラズト雖ドモ、(註)
 今次ノ戰爭ニ依リ假令其ノ面積ハ大ナラザルモ
 產物ノ豐富ナル地方、例ヘバ炭礦・鐵礦・製絲・織
 物・製糖工場等ノ所在地及甜菜・小麥・馬鈴薯等
 ノ產地ヲ或ハ馬蹄ニ蹂躪セラレ、或ハ敵ニ占領
 セラレツツアルト、開戰以來本年二月一日ニ至
 ル迄ハ海上ヲ封鎖セラルルコトナクシテ船舶ノ
 出入自由ナリシモ、現今ハ其自由ヲ有セザルニ
 至リシヨリ、從來食料供給問題ニ關シテハ英・獨
 兩國ヨリモ遙カニ好地位ヲ占メタル佛國モ、今
 ゼ他國ト同ジク次第ニ食料騰貴ノ苦痛ヲ實驗セ
 ザルヲ得ザルニ至レリ、然レドモ佛國政府ハ尙
 ホ未ダ獨逸ノ如クニ極端ナル食料制限法ヲ實行

第五卷 (第六號 一三〇) 八九四

スルニ至ラズシテ最高價格ノ決定ノ如キモ比較
 的少數ノ貨物ニノミ限ラレツツアリ、英・獨等ノ
 食料供給問題ニ關シテハ今日ニ至ル迄世ニ紹介
 セラレタルモノ少ナカラズト雖ドモ、佛國ノ事
 情ニ付キテハ未ダ多ク之ヲ耳ニセザルヲ以テ、
 左ニ開戰以來佛國政府ノ食料供給問題ニ關シテ
 執リタル方針ノ大要ヲ紹介セント欲ス。

(註) 一九一三年度ニ於ケル佛國ノ食料品ノ輸入總額ハ十八
 億〇三百萬法(約七億圓)ナルモ、一九一二年度ニ於ケル英國
 ノ食料品ノ輸入總額ハ二億六千二百萬磅(約二十五億五千萬
 圓)、獨逸ノ食料品ノ輸入總額ハ三十一億七千萬馬克(約十五
 億〇八百萬圓)ニ達セリ、而シテ以上ノ佛國ノ食料品ノ輸入
 總額ハ國內ニ於ケル食料ノ全消費額ノ約一割二分ニ相當スル
 ニ過ギズ。

(一) 小麥・小麥粉及麪包ノ最高價格ノ制限、
 麪包及肉類ノ最高價格ヲ制限シ得ルコトハ佛國
 ニ於テハ既ニ一七九一年ノ法律ニ據リテ定メラ
 レタル所ニシテ、即チ地方自治體ノ長ハ是等二
 種ノ食料品ノ價格ノ高キニ失スルコトヲ認ムル
 時ハ、其ノ最高限度ヲ指定シ得ベキ權能ヲ法律
 ニ據リテ附與セラレシガ、所謂自由主義派ノ經

(1) The Economic Journal, March, 1916, pp. 35ff.

(2) Monthly Review of the U. S. Bureau of Labor Statistics, April, 1917, pp. 526-528.

濟學者等ハ殆ンド一世紀以上ノ久シキニ亘リテ該法律ノ撤廢ヲ要求シタルモ遂ニ其ノ效ナク、肉類ニ關シテハ適用稀ナリシト雖ドモ、麪包ハ之ニ依リテ屢々其ノ最高價格ヲ限定セラレタリ、然レドモ地方自治體ノ長ニシテ小麥及小麥粉ノ最高價格ヲモ同時ニ限定シ得ベキ權能ヲ與ヘラレザル限リハ、獨リ麪包ノ價格ノミヲ制限セントスルモ實際上ニ於テハ徒勞ニ屬スルコト多キヲ覺レル政府ハ、一九一五年十月十六日ノ法律ニ據リ小麥ノ價格ノ決定權ト共ニ、必要アル場合ニハ指定價格ヲ以テ農民及商人ヨリ小麥ヲ徵發シ得ベキ權ヲモ之ヲ政府ノ手中ニ收メタリ。(註)

(註) 一九一五年十月十六日ノ法律ハ一ヘクこりつたニ付七十七きろぐらむノ重量ヲ有シ、且百分ノ二以上ノ外國種ヲ混セザル小麥ノ最高價格ヲ每ヘクこりつた一三十法ト定メ、重量一きろぐらむヲ加フル毎ニ價格百分ノ一ヲ増加シ、又外國種百分ノ一ヲ増ス毎ニ價格百分ノ一ヲ減ズベキコトヲ定ム。

然レドモ實際上ニ於テハ政府ハ此ノ權利ヲ行使スルコト甚ダ稀ナリ、蓋シ必要ト認ムル場合ニハ政府ハ小麥ノ最高價格ヲ指定シ得ベシトノ

規定ハ、若シ三十法以上ニ人爲的ニ價格ヲ騰貴セシムルガ如キコトアランカ、却テ徵發令ノ發布ヲ促スノ危險アルヲ以テ、商人等ハ事實上三十法以上ノ高價ヲ要求スルコトノ不利ナルヲ悟リ、容易ニ是レ以上ニ價格ヲ高ムルコトナキヲ以テナリ、但シ小麥粉ノ價格ハ地方ニ依リ製粉設備及運搬ノ便否等ニ差異アルヲ以テ、之ガ最高價格ノ決定ハ各地方廳ニ委ヌルモ、通常ハ百きろぐらむニ付四十法乃至四十二法ナリトス。

一九一五年度ニ於ケル佛國內ノ小麥ノ產額ハ農地ノ一部ノ兵馬ニ依リテ蹂躪セラレタル農業勞力ノ缺乏ノ結果平年ノ如クナラザリシヨリ、外國產ノ小麥ノ輸入ヲ増加セシメシガ、政府ハ前述ノ法律ニ據リ輸入小麥ヲ買上ゲ、其ノ缺乏ヲ訴フル地方ニ之ヲ拂下グルノ方針ヲ採リ一九一四年九月八日ノ布告ニ據リテ設置セラレタル食料供給委員ヲシテ主トシテ此ノ任務ニ當ラシメタリ、該委員ハ商務省ニ直屬シ原則トシテハ自ラ直接消費者ニ拂下ゲヲ爲スコトナク、先ヅ各都市ニ於ケル商業會議所ニ拂下グ、商業

會議所ヲシテ必要ニ應ジテ之ヲ分配セシムルノ主義ヲ探レリ、而シテ一九一五年五月ヨリ同年十二月末日ニ至ル迄ニ該委員ノ買上ゲタル輸入小麥ノ數量ハ五百七十五萬八千いんたる(二くいんたるハ百きろぐらむ)ニシテ、其ノ價格ハ一ヘクとりつたニ付三十法以上ナリシモ、消費若ニ對シテハ前述ノ法律ニ據リ最高價格三十法以上ヲ要求スルコト能ハザルヲ以テ、結局政府ハ其ノ損失ヲ負擔スルコトナリ之ガ爲メニ二億法ノ支出ヲ決議スルニ至レリ、然レドモ輸入小麥ノ價格ヲ高カラシメタル原因ハ、船舶ノ缺乏ニ基ヅク運賃ノ暴騰ニ負フ所頗ル大ナリシガ故ニ、政府ハ可及的其ノ負擔ヲ減少セントスルノ主旨ヨリ多數ノ傭船ヲ爲シ以テ損失ノ輕減ニ努メタリ、佛國政府ノ斯カル機敏ナル處置ニ依リ、一般國民ハ少クトモ麪包ニ關シテハ獨逸ハ勿論英國ヨリモ遙カニ低廉ナル價格ヲ以テ其ノ需要ヲ充タスコトヲ得タリ。(註)

(註) 佛國ニ於テハ二きろぐらむ(四・四封度)ノ麪包ハ八十五さんち一む(約三十二錢)内外ナルニ、英國ニ於テハ四封度

ノ麪包ニ對シテ十片(約四十錢)以上ヲ支拂ハザル可カラズ。然レドモ農民等ハ需要供給ノ原則ニ依リテ自然的ニ決定セラルベキ小麥ノ價格ヲ、人爲的ニ制限セントスル政府ノ方針ニ對シテハ同意ヲ表スルコト能ハザリシハ勿論ニシテ、該法律ノ實施セラレントスルヤ彼等ハ政府ニシテ小麥ノ最高價格ヲ定メ、之レ以上ニ賣却ス可カラザルコトヲ命ゼント欲セバ、農業勞働者ニ對シテモ亦其ノ最高賃金ヲ定メ、夫レ以上ノ高賃ヲ要求ス可カラザルコトヲ命ズルニ非ズンバ、到底農業上ノ收支ヲ償フ能ハザルコトヲ主張シテ政府ノ反省ヲ促ガセシカバ、政府モ遂ニ之ヲ諒トシ開戦ノ當初即チ一九一四年七月三十一日ノ布告ニ據リテ廢止シタル小麥ノ輸入稅ヲ復活シ、百きろぐらむニ付七法ノ課稅ヲ爲スベキコトヲ定メ、以テ最高價格ノ制限ニ對スル農民ノ苦痛ノ補償トナセリ、此ノ關稅ノ復活ハ價格ノ暴騰ヲ防ギ食料ノ缺乏ヲ補ハントスル本來ノ主旨ヨリ論ズル時ハ一見矛盾セルガ如キモ、亦他方ヨリ觀察スル時ハ既ニ最高價格ヲ指定シテ其ノ騰貴

ニ因リテ受クベキ農民ノ利益ヲ制限セントスル以上ハ、外穀ノ輸入ニ因リテ價格ノ下落ヨリ生ジ得ベキ農民ノ損失ヲ保障セントスルコトハ又至當ノ政策ト謂ハザル可カラズ、蓋シ最高價格ヲ定ムル以上ハ又最低價格ヲモ之ヲ定ムルニ非ズンバ消費者及生産者ヲ公平ニ保護スルモノト稱ス可カラザルヲ以テナリ、然レドモ最近ノ實況ハ斯カル關稅ノ有無如何ニ拘ハラズ、外國小麥ノ價格ハ國內ニ於ケル最高價格(三十法)以上ニ著シク騰貴シツアルヲ以テ、政府自ラ其ノ損失ヲ負擔スルノ覺悟アラザル限りハ之ガ輸入ハ頗ル困難トナルニ至レリ。

小麥及小麥粉ノ最高價格ノ限定ニ關シテ更ニ一ノ障礙トナリタルハ燕麥ニシテ、燕麥ハ價格ノ騰貴ニ何等人爲的ノ制限存セザリシヨリ、需要供給ノ關係上小麥ヨリモ高價ニ賣買セラレ、昨一九一六年ノ初メニ於テハ一ヘクトリツタニ付四十法ノ價格ヲ示スニ至レルヲ以テ、農民等ハ利益ノ打算上小麥ノ生産ニ代ユルニ燕麥ノ生産ヲ以テシ、甚ダシキニ至リテハ家畜ノ飼糧

トシテモ小麥ヲ使用シテ燕麥ハ之ヲ賣却スルガ如キ極端ナル方法ニ出デシヨリ、一九一六年四月二十五日ノ布告ニ據リ家畜ノ飼糧ニハ小麥ヲ使用ス可カラザルコトヲ命ジ、以テ其ノ弊ヲ矯正センコトニ努メタリ。

(二) 小麥以外ノ貨物ノ最高價格ノ制限。⁽¹⁾ 昨一九一六年四月十七日及同二十日ノ法律ハ小麥以外ノ或種ノ貨物ニ對シテモ必要ト認ムル場合ニハ政府ハ其ノ最高價格ヲ定メ得ベキコトヲ規定ス、即チ四月十七日ノ法律ニ於テハ現今ノ戰爭ノ繼續中ハ內務及農商務大臣ニ於テ必要ト認ムル場合ニハ、小麥以外ノ一切ノ麥類及糧類ノ最高價格ヲ制限センコトヲ提議シ得ベキコトヲ規定シ、又同月二十日ノ法律ハ戰時中及戰爭終了後三箇月間ハ、政府ハ砂糖・珈琲・馬鈴薯・牛乳・牛酪・乾酪・食用脂肪類及油類・油糟・ばらふいん・石油・肥料・丹礬及硫黃等ノ最高價格ヲ指定シ得ベキコトヲ定ム、但シ砂糖・珈琲・ばらふいん及石油ノ四種(是等ノ價格ハ商務大臣ノ提議ニ依リテ之ヲ定ム)ヲ除キ、他ノ貨物ノ最高價

(1) Monthly Review of the U. S. B. of L. S., April, 1917, pp. 529-530.

格ハ各縣ニ於テ此ノ目的ノ爲メニ設ケラレタル
委員會(委員會ハ十六名ノ委員ヨリ成リ、地方
長官・縣會・商業會議所及農民團體中ヨリ各四名
ヲ任命又ハ選出ス)ノ意見ヲ徵シテ地方長官之
ヲ決定ス、更ニ戰爭地帶ニ於ケル一切ノ食糧品
ノ價格ハ陸軍省之ヲ定メ、軍人以外ノ一般人民
ニ對シテモ之ヲ適用スベキコトヲ規定セリ。

以上ノ法律ニ據リテ決定セラレタル最高價格
ニ對スル異議ノ申立ハ、之ガ爲メニ損害ヲ蒙ム
ルベキ地方ノ市長・商人及生産者ニ限リテ之ヲ
爲スコトヲ得、商人及生産者ニ於テ異議ノ申立
ヲ爲ス場合ハ最高價格ノ發表後十日以内ニ書留
郵便ヲ以テ內務大臣又ハ商務大臣ニ宛テ之ヲ爲
スト共ニ、當該地方ノ長官ニ對シテモ其ノ旨ヲ
通知スルヲ要ス、此ノ申立ニ對シテハ二週間以
内ニ決定ヲ與ヘラル、該法律ハ更ニ小賣商人ハ
地方長官ノ指定セル最高價格ヲ店頭ニ揭示シ、
又其ノ規定ニ違反シタル者ニ對シテハ所罰ヲ加
フベキコトヲモ之ヲ定ム。

(三) 肉類ノ價格ノ制限、⁽¹⁾ 肉類ニ關シテハ價格

ノ制限ハ未ダ普ネク行ハルルニ至ラズ、蓋シ肉
類ハ他ノ食料品ノ平均騰貴額以上ニ騰貴セザル
ト、小麥及麪包ノ如キハ其ノ品質ニ著シキ差異
ナキヲ以テ比較的容易ニ其ノ價格ヲ決定シ得ル
モ、肉類ニ至リテハ然ラザルガ故ニ、此ノ點ヨ
リ論ズルモ價格ノ決定頗ル困難ナル事情アルヲ
以テナリ、故ニ地方ニ依リテハ市營ノ肉市場ヲ
開設シテ間接ニ其ノ價格ノ騰貴ヲ抑制セントス
ルノ方針ヲ採レリ、市營市場ノ開設ハ固ヨリ直
接私設市場ノ價格ヲ制限スルコトナキモ、然カ
モ競争者トシテ侮ル可カラザル勢力ヲ有スルガ
故ニ、間接ニ彼等ヲ強制シ得ルノ力アリ、例ヘ
バニ一む市ニ於テハ一九一五年十一月ニ初メテ
市營ノ肉市場ヲ開設セシガ、豫想以上ノ好成績
ヲ收メ、其ノ後市ノ各部ニ六箇所ノ支場ヲ設ケ、
私設市場ニ比シテ一割五分乃至二割ノ廉價ヲ以
テ肉類ヲ供給シツツアリ。

巴里ニ於テハ市自ラ肉市場ヲ經營スルニ代
ヘ、巴里購買組合ノ同盟本部ヲシテ之ニ當ラシ
メツツアルモ、實際上ハ一切ノ肉類ヲ販賣スル

(1) The Economic Journal, March, 1916, pp. 39-40.

ニ非ズシテ單ニ凍肉ノミニ限ラル、今次ノ大戰
前迄ハ百きろぐらむニ付三十六法ノ殆ンド禁止
的ノ關稅率ノ爲メニ、凍肉ノ佛國內ニ輸入セラ
ルコト稀ナリシモ、戰爭ノ影響ニ因リ新タニ
輸入ノ門戸ヲ開クニ至レリ、然レドモ佛國ハ特
殊ノ設備ヲ要スル凍肉ノ運送船ヲ有セザルヲ以
テ、之ガ供給ハ專ラ英國ニ依頼シツツアリ、戰
爭ノ爲メニ凍肉ノ佛國內ニ輸入セラルルニ至リ
タルコトハ、一方ニ於テハ佛國民ノ生活費ヲ節
減セシムルノ機會ヲ與ヘタルト共ニ、他方ニ於
テハ從來比較的不利ノ地位ニ在リシ佛國ノ購買
組合ノ制度ニ對シテ、政府及一般人民ノ注意ヲ
喚起セシムルノ結果ヲ生セシメタリ。

(四) 砂糖ノ消費ノ制限、⁽¹⁾ 次ニ砂糖ノ消費ヲ適
度ニ制限センガ爲メニ本年一月十二日政府ニ依
リテ招集セラレタル砂糖委員會ハ、從來佛國內
ニ於テ消費セラルル砂糖ノ三分ノ二ハ輸入品ナ
ルモ、今ヤ海上運送ノ困難及危險ハ日ニ加ハリ
ツツアルヲ以テ、一人一箇月ノ消費量ヲ七百五
十ぐらむニ制限スベク、若シ自家用菓子又ハ砂

糖漬等ヲ製スル場合ニハ特ニ一人ニ付一箇年ニ
三きろぐらむヲ増加スベキコトヲ提議シ、又同
月二十一日ノ布告ハ一九一七年二月一日以後菓
子製造業者ハ每週火・水兩日ハ其ノ製造ヲ休止
スベク、旅館・飲食店・菓子店等ニ於テモ是等ノ
兩日ニハ一切菓子類ノ販賣ヲ禁止スル旨ヲ定
メ、以テ砂糖ノ消費ヲ制限セントスルノ方針ヲ
探レリ。

(五) 以上諸種ノ制限ノ外更ニ本年一月政府ハ旅
館及飲食店等ノ代表者ヲ招集シテ、食料消費ノ
制限ニ關スル協議ヲ遂ゲタルノ結果、本年二月
十五日以後旅館・飲食店・賭所『カッフェー』・俱
樂部・食堂車其ノ他之ニ類似ノ場所ニ於テハ、
『スーブ』・乾酪・副食物等ヲ除キ一食二品(一品
ハ肉類)以上ヲ供ス可カラザルコトヲ定メ、又
食料品ノ浪費ヲ豫防センガ爲メニ、献立表ニハ
『スーブ』二種・鶏卵一品・魚類二品・肉類三品・野
菜三品以外ニ多クノ品種ヲ記載スルコトヲ禁
ジ、前記事業ノ經營者等ハ日々其ノ献立表ヲ警
察署ニ提出シテ認可ヲ受ク可キコトヲ命ズル等

(1) Monthly Review of the U. S. B. of L. S. April, 1917, pp. 532-533.

雜錄 戰前英國ノ海運及貿易情況

ノ事實ヨリ推スモ、佛國政府ノ戰時食料政策ハ
今ヤ次第ニ緊張ノ度ヲ高メツアルコトヲ想像
セシムルニ難カラザルナリ。